

三鷹駅北口交通環境基本方針（案） ＜参考資料＞

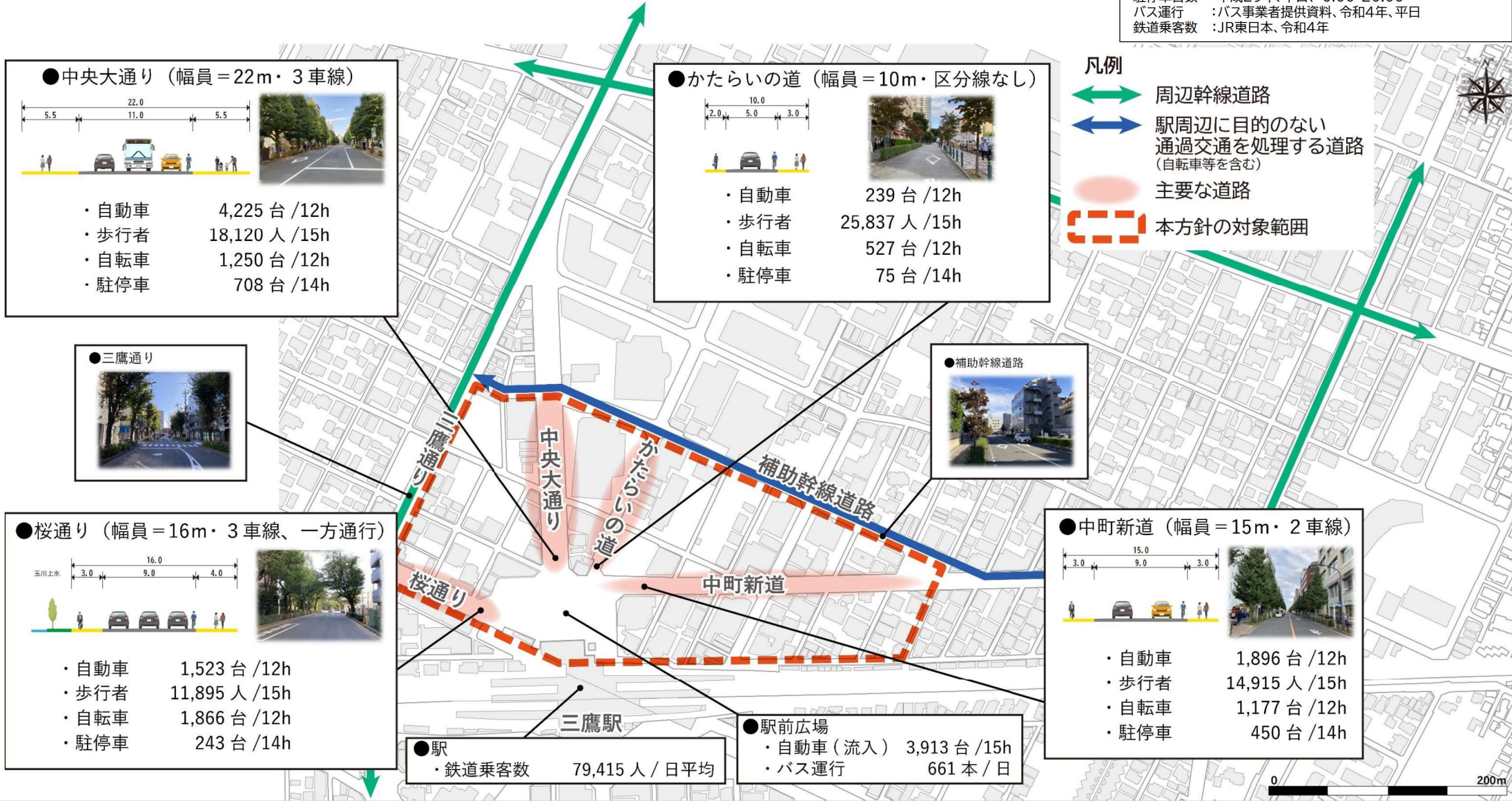
－ 目 次 －

1	交通環境の概況	P. 1
2	方針策定の経過	P. 2
	（1）地域展開	P. 2
	①オープンハウス	P. 2
	②ワークショップ	P. 2
	③研究会	P. 3
	（2）庁内委員会・アドバイザー委員会	P. 3
	（3）今後の主な検討課題に係るご意見	P. 4
3	検討の記録	P. 5
	（1）駅前広場の整備パターンの比較	P. 5

1 交通環境の概況

- ・ 駅前広場から放射状に伸びる4つの道路(中央大通り、桜通り、中町新道、かたらいの道)が駅周辺の主な交通動線となっています。
- ・ 主要な4つの道路全てにおいて、自動車よりも歩行者の交通量が多くなっています。
- ・ 駅前広場に入出入りする自転車の交通量は、桜通りが最も多く、中央大通り、中町新道が続きます。
- ・ 送迎や荷捌きなどを目的とした路上駐停車が主要な4つの道路全てにおいて一定数発生しています。
- ・ 鉄道やバスなどの地域公共交通の高い利便性が特徴となっています。

[出典等]
 自動車交通量:平成29年、平日、7:00-19:00
 ※かたらいの道:平成25年、平日、7:00-19:00
 ※駅前広場:令和2年、平日、7:00-22:00
 歩行者交通量:平成25年、平日、7:00-22:00
 自転車交通量:平成30年、平日、7:00-19:00
 駐停車台数 :平成29年、平日、6:00-20:00
 バス運行 :バス事業者提供資料、令和4年、平日
 鉄道乗客数 :JR東日本、令和4年



2 地域展開・意見交換の記録

本方針(案)の作成にあたり、様々な形で地域の方々や学識経験者等と意見交換を行いました。

(1) 地域展開

① オープンハウス

- 地域のイベントに合わせてブースを出展し、パネル展示等による情報発信や意見収集を行いました。

※以下は概要となります。
詳細は市ホームページをご覧ください。



↑ オープンハウス・
ワークショップ・研究会



↑ 市内委員会・
アドバイザー委員会

開催日時	場所	来場者数	実施内容
令和4年5月28日(土) 午前11時～午後4時	かたらいの道 (タワーズマルシェ @むさしのブース)	338人 (内、ヒアリング 件数77件)	「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方(たたき台)」について、パネルを展示し、地域イベントの来場者や通行者に紹介し、ご意見をいただきました。 共感する場合は「いいね」シールを貼り、意見や感想などがある場合は、付箋でパネルに追加するなど皆さまの考えを反映しました。
令和5年9月16日(土) 午前11時～午後5時	駅前広場 西側歩道 (三鷹駅北口商店会 秋祭ブース)	337人	ブースを出展し、地域イベントの来場者や通行者に街づくりニュースを配布する等、検討状況を紹介しました。



② ワークショップ

- 三鷹駅北口にふさわしい交通街づくり等を議題として、グループワーク形式で参加者同士による意見交換を行いました。
(募集方法:公募と無作為抽出の併用)

開催日時	場所	参加者数	テーマ
令和4年6月4日(土) 午後2時～ 午後4時30分	武蔵野芸能劇場	35人	①三鷹駅北口周辺の大切にしたいことや印象について ②駅前広場や周辺道路の問題点について ③居心地の良い、歩きやすいと感じた都市の駅周辺について ④概ね10～20年後の三鷹駅北口のイメージや過ごし方について
令和4年6月25日(土) 午後2時～ 午後4時30分	武蔵野芸能劇場	31人	①拡張を伴う2ロータリー化について ②2ロータリー化を踏まえた道路の役割分担について ③「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に対する感想について



③研究会

- 三鷹駅北口で事業を営む商店会、法人会や、駅を利用する子育て世帯や福祉等に関係する団体、地域公共交通を担う交通事業者を構成員とし、学識経験者から助言を受けながら意見交換を行いました。

開催日	会議名	実施内容、検討テーマ
令和4年2月9日(水)	研究会(準備会)	目的と提言に向けた検討プロセスの確認
令和4年8月5日(金)	研究会(第1回)	将来イメージ・現状の問題点 考え方1 駅周辺道路の交通体系の再編
令和4年9月29日(木)	研究会(第2回)	考え方2 駅前広場の2ロータリー化 考え方3 駅前広場の拡張
令和4年10月28日(金)	研究会(第3回)	考え方4 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくり 報告書(素案)
令和5年1月27日(金)	研究会(第4回)	報告書(案) 今後の進め方

■構成員団体名

東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 三鷹駅
 関東バス株式会社 武蔵野営業所
 西武バス株式会社 上石神井営業所
 西武バス株式会社 滝山営業所
 一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 武・三支部
 社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会
 社会福祉法人 武蔵野
 公益財団法人 武蔵野子ども協会
 三鷹駅北口商店会
 武蔵野市中央地区商店連合会
 八丁商和会
 公益社団法人 武蔵野法人会

■アドバイザー(敬称略)

日本大学 理工学部 土木工学科 教授 大沢 昌玄

■オブザーバー

警視庁 武蔵野警察署 交通課 等



(2) 庁内委員会・アドバイザー委員会

- 庁内委員会を立ち上げ、本方針について検討しました。アドバイザー委員会では、都市交通計画などを専門分野とする学識経験者より、専門的な見地から庁内委員会へ助言を行いました。

開催日	会議名	実施内容、検討テーマ
令和4年12月1日(木)	庁内・アドバイザー委員会 合同会議 (令和4年度 第1回)	研究会報告書(案)の取りまとめ状況 今後の進め方について
令和5年7月11日(火)	庁内・アドバイザー委員会 合同会議 (令和5年度 第1回)	交通環境基本方針 骨子イメージ 方針の検討・検討課題と対応の方向性
令和5年10月6日(金)	庁内・アドバイザー委員会 合同会議 (令和5年度 第2回)	地権者意向の確認状況 交通環境基本方針の検討

■庁内委員

都市整備部長
 都市整備部 まちづくり推進課長
 都市整備部 交通企画課長
 都市整備部 交通企画課 道路整備計画担当課長
 都市整備部 道路管理課長
 市民部 産業振興課長
 市民部 市民活動推進課長

■アドバイザー委員(敬称略)

日本大学 理工学部 土木工学科 教授 大沢 昌玄
 イーグルバス株式会社 顧問 坂本 邦宏
 東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授 饗庭 伸
 東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 准教授 稲垣 具志



(3) 今後の主な検討課題に係るご意見

- これまでの地域展開・意見交換の中で、今後の主な検討課題について様々なご意見をいただきました。主なご意見を紹介します。
(本方針(案)13頁～(4)将来像を実現するための取組に記載された課題を除きます)

分類	主な検討課題	主なご意見	関連取組
駅前 広場	2口ローター化により生じる自動車の迂回への対応	一般車両や荷捌き車両等が現状よりも迂回が必要となる点については、市民や事業者に丁寧に情報を発信し、理解と協力が得られるように努めてもらいたい。	取組1・2
	福祉車両の乗降環境の確保	福祉車両の乗降場の配置については、停めやすく乗り降りに焦らず時間をとれるような安全安心な乗降環境に配慮のうえ、利用者と十分協議してもらいたい。	取組1・3
	バス待ちスペースと歩行空間の干渉の解消	駅前広場の再整備にあわせて、バス待ち環境の充実化を図っていくうえで、バス待ちスペースと歩行者の通行空間が干渉しないように配慮してもらいたい。	取組1
	タクシーの客待ち車両の待機列の解消	タクシーの待機場場については、駅周辺における客待ち車両の待機列を解消するため、駅前に一定数確保したうえで、その他の分を駅前から離れた場所に確保し、効率的に配車するシステム(ショットガン方式)の導入を検討してもらいたい。	取組1・3
	情報の集約化	災害時の情報やコミュニティ形成に関する日常的な情報等、駅前広場に情報拠点としての機能を持たせると街の魅力を高めることができるのではないかと。	取組1
駅周辺 道路	枝道の通過交通への対応	にぎわいのエリア内における枝道への通過交通の発生が懸念されることから、それらの道路の安全対策(歩道の整備等)を併せて検討してもらいたい。	取組2
	渋滞の発生有無、天候による影響、エリア外の周辺地域への影響や波及効果への配慮	周辺道路での渋滞の発生有無、天候による影響等について、社会実験等による十分な検証が必要である。エリア外の周辺地域への影響(自動車交通量の増加等)や波及効果(にぎわいの向上等)にも配慮のうえ検討してもらいたい。	取組2
	補助幹線道路と中町新道との交差点の形状	駅前への通過交通を補助幹線道路に転換させるために、補助幹線道路と中町新道との交差点の形状を、運転手が主たる道路は補助幹線道路であることを認識しやすくなるように工夫して改修してもらおうと良い。	取組2・4

3 検討の記録

(1) 駅前広場の整備パターンの比較

- ・ 論点がわかりやすい整備パターンとして、本方針(案)に記載の2ロータリー案(西拡張案、北東拡張案)以外のイメージ案についても概略比較しました。
- ・ 駅前広場の課題に対して、デッキ案や2ロータリー案(現状面積案、小規模用地拡張案)による改善効果は限定的となっています。

整備パターンの例(参考)

凡例	現状	デッキ案	2ロータリー案	
			現状面積案	小規模用地拡張案
地域公共交通 一般車 歩行者 動線のふくそう・交錯 広場内の歩道 拡張用地				
通過交通の流入削減 動線のふくそう・交錯の解消	× 通過交通が流入しやすい構造、動線がふくそう・交錯	× 通過交通が流入しやすい構造、動線のふくそう・交錯は解消されない。	△ 通過交通の流入を防ぎ、動線のふくそう・交錯が一部解消される。	○ 通過交通の流入を防ぎ、動線のふくそう・交錯が解消される。
乗降スペースの確保	× 乗降スペースが不足	× 乗降スペースの不足は解消されない。	× 乗降スペースの不足は解消されない。	△ 乗降スペースの不足は一部解消される。
歩行者のための滞留空間の確保	△ 面積が限られており不十分	△ 面積が限られており十分な滞留空間は確保されない。	× 滞留空間が現状よりも少なくなる。	△ 面積が限られており十分な滞留空間は確保されない。
将来の変化への備え	△ 面積が限られており不十分	△ 変化へ柔軟に対応できる面積が十分に確保されない。	× 変化へ柔軟に対応できる面積が現状よりも少なくなる。	△ 変化へ柔軟に対応できる面積が十分に確保されない。
低利用地のまちづくり	— (周辺に低利用地が散在)	△ 低利用地のまちづくりに与える効果が限定的となる。	△ 低利用地のまちづくりに与える効果が限定的となる。	△ 低利用地のまちづくりに与える効果が限定的となる。

※論点がわかりやすい現状とイメージ案について概略比較したもので、拡張範囲は未定です。



